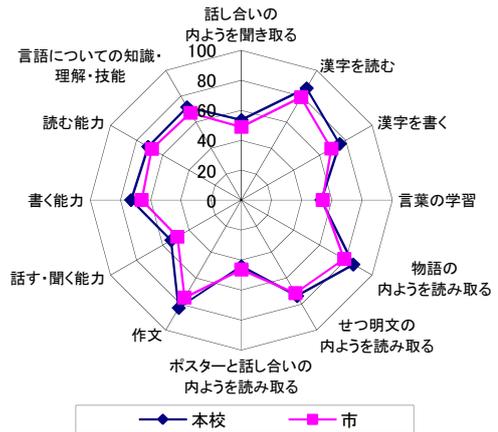


# 宇都宮市立西原小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	53.6	48.8
	漢字を読む	86.3	79.3
	漢字を書く	75.3	68.8
	言葉の学習	53.0	53.8
	物語の内ようを読み取る	85.7	78.7
	せつ明文の内ようを読み取る	73.8	71.6
	ポスターと話し合いの内ようを読み取る	44.0	46.3
観点別	作文	83.0	75.1
	話す・聞く能力	53.6	48.8
	書く能力	73.0	65.9
	読む能力	71.2	68.4
	言語についての知識・理解・技能	71.7	67.2



## ★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	平均正答率は、宇都宮市の正答率より、4, 8ポイント上回っている。「話の中心に気を付けて聞くこと」や「互いの話の相違点や共通点を考えて聞き取り話すこと」が身に付いているといえる。	「話すときの約束」を意識してペア学習やグループ学習に取り組み、自分の考えを自分の言葉で表現できるように支援していく。相手意識をもって分かりやすく伝える場の設定を意図的に行い実施していく。
漢字	平均正答率は、宇都宮市の正答率より、7ポイント上回っている。第4学年の配当漢字については、90%近い正答率であり、第3学年の配当漢字の読みについては市の平均とほぼ同様で、書きについては、6, 5ポイント上回っていた。	常に文章を書くときには、既習した漢字を使うように指導する。4年生までの漢字を朝の学習やチャレンジ学習等で位置づけたり、家庭学習で取り組めるように家庭と連携しながら、継続して実施していく。
言葉の学習	平均正答率は、宇都宮市の正答率より、やや下回っており、「ことわざ」「修飾語」「漢字辞典の使い方」の理解が、不十分な児童が見られた。	主語・述語を正確に理解させ、文の成り立ちや区切りについても理解を深めさせる。朝の学習やチャレンジ学習等で位置づけ、継続して実施していく。
物語の内ようを読み取る	平均正答率は、宇都宮市の正答率より、7ポイント上回っている。「登場人物の気持ちの変化」や「場面の様子」などを読み取ることができている。	物語を読むことの楽しさを味わうとともに、読書活動を推進し、いろいろな分野の本を読むようにする。また、「場面の移り変わり」を読み取るために、場面ごとのキーワードに着目させ、文章全体の中での役割を考えさせていく。
せつ明文の内ようを読み取る	平均正答率は、宇都宮市の正答率と、ほぼ同じである。「細かい点に注意して読み取る」ことや「文と文のつながりを考えて読む」ことなど、説明的な文章の読み取り方が身に付いているが、「目的や必要に応じて、文集の内容を読み取る」ことが不十分な児童が見られる。	説明文の読み取りに関しては、段落と段落の関係に着目し、「要点」をまとめる活動を行い、内容を正しく理解し、読み取れるようにする。そのためにも、読書活動に力を入れ、物語文以外の読み物にも興味関心をもてるようにする。
ポスターと話し合いの内ようを読み取る	平均正答率は、宇都宮市の正答率より、やや下回っている。資料の内容を的確に捉え、適切な言葉を使って話すことが、不十分な児童が見られる。	日常生活の中で、時と場に応じた言葉づかいを指導していくとともに、話の要点を押さえて、自分の考えを話す機会を意図的に設定する。
作文	平均正答率は、宇都宮市の正答率より、7, 9ポイント上回っている。指定された長さで、文章を書いたり、二段落構成で自分の意見とその理由を区別し、的確な表現で文章にすることが身に付いている。	「二段落構成」については、通常のノート指導を通して支援していく。感想カードを活用し、日々の学校行事や学年行事などの具体的な活動を取り上げ、文章表現に必要な語彙量や表現力を育てていく。